

自分のお金と、かしく付きあうために ～一年の計は「家計簿」にあり。健康的な家計のための第一歩～

「アベノミクス」から始まった2013年は株価が上昇したこともあり、景気回復の兆しがあらわれてきたといわれているが、私たち庶民には景気回復を実感できない一年だった。

加えて今年は4月から消費税が8%に上がることも決定されており、家計にとってはますます厳しい一年になるかもしれない。

そんな2014年の始まりに、私がぜひお薦めしたいのは家計簿をつけるという習慣だ。

日々の支出を細かく記録していくことで、ひと月にどれだけ「ムダ使い」があるかを確認することができる。余計な支出を抑えることができればその分、家計に余裕が生まれるので、趣味の充実、自己啓発や勉強に使えることになる。

また、借金などがあれば「繰上げ返済」をすることで将来的な負担を減らすことが可能だ。

そして家計簿をつけていくと見えてくるのがもう一つある。それは毎月の給料から天引きされている会社保険料や税金の金額だ。普段はあまり意識していない給与明細も、改めて見直すと相当な金額があらかじめ天引きされ、手元に入ることなく通り過ぎていつの間にか驚かされるのではないだろうか。家計に占める割合で考えると相当である。

このように家計簿をはじめめることで自分の支出傾向や納税している金額などに意識が向くようになり、健康的な家計を維持する能力を養うことができるようになる。

来たるべき消費増税や物価高に慌てずによろ、2014年は家計簿から始めてみるのはいかがだろうか。

日本ファイナンス有限会社
下関店 店長 松原 剛
TEL083-234-3544
<http://nihon-finance.com>

借金で苦しむ人への的確なアドバイスで定評がある、消費者金融のプロフェッショナル。弁護士の人脈、債務カウンセリング、真摯に相談に乗る姿勢が認められ、感謝の声が多数寄せられている。ラジオなどのメディア出演を通して、借財に対する正しい認識を広めている。

